【4月期】3月5日（水）10時から受付開始

※金額には消費税が含まれています。

歴史

講座名	**歴史の視点Ⅲ－論争から紐解く日本の古代史－**	
講師名	黒澤　彰哉 （元茨城県立歴史館史料学芸部長）	
講義日時	第1水曜　13時～14時30分	
	①4/2　日本人起源論争と旧石器捏造事件 ②5/7　金印真贋論争と邪馬台国論争 ③6/4　韓国の前方後円墳論争と騎馬民族論争 ④7/2　さまざまな法隆寺論争 ⑤9/3　多賀城碑真贋論争	
受講料 （5回分）	会員　6,600 円	
	一般　9,900 円	
講座内容		

考古学や古代史の研究において、様々な論争が行われてきました。これらの論争を紹介しながら、日本の古代史を考えていきます。

講座名	**常陸中世史探訪23**	
講師名	糸賀　茂男 （常磐大学名誉教授）	
講義日時	第2、第4火曜　10時～11時30分	
	①4/8　②4/22　③5/13　④5/27　⑤6/10 ⑥6/24　⑦7/8　⑧7/22　⑨8/26　⑩9/9	
受講料 （10回分）	会員　13,200 円	
	一般　16,500 円	
講座内容		

今、日本中世史が面白い。平安・鎌倉・南北朝・室町・戦国各期の常陸の歴史を探訪しつつ、真の日本の成り立ちを感じ取ってみましょう。

講座名	**鎌倉時代の八田氏（小田氏）と常陸平氏**	
講師名	中根　正人 （筑波技術大学職員、茨城地方史研究会会員）	
講義日時	第2土曜　10時～11時30分	
	①6/14　　鎌倉前期の八田氏と常陸平氏 ②7/12　　鎌倉中期の八田氏と常陸平氏 ③8/9　　鎌倉後期の八田氏と常陸平氏	
受講料	会員　　3,960 円	
（3回分）	一般　　5,610 円	
講座内容		
鎌倉時代の常陸南部について、主に八田氏（小田氏）と常陸平氏を中心に、幕府や朝廷との関わりを史料からみていきます。		

講座名	**江戸時代を見直す（その3）**	
講師名	永井　博 （元茨城県立歴史館史料学芸部長）	
講義日時	第4金曜　13時～14時30分	
	①4/25　　武家・農民・町人の生活の諸相 ②5/23　　自然災害・疫病とのたたかい ③6/27　　幕末の外交 ④7/25　　徳川慶喜の評価をめぐって	
受講料	会員　　5,280 円	
（4回分）	一般　　7,920 円	
講座内容		
現代日本の基礎としての江戸時代の再評価が進んでいます。本講座ではテーマを設定して学んでいきます。		

講座名	常総の歴史－両総平氏と常陸の勢力	
講師名	平野　明夫 （國學院大學兼任講師）	
講義日時	第2、第4木曜　15時～16時30分	
	①4/10　相馬御厨の成立 ②4/24　相馬御厨をめぐる争い ③5/8　千葉常胤と常陸平氏 ④5/22　相馬師常 ⑤6/12　鎌倉時代の相馬氏 ⑥6/26　北畠親房と常総地域 ⑦7/10　千葉氏の分裂と常総地域 ⑧7/24　里見氏の侵攻と千葉氏 ⑨8/28　北条氏の下総進出と千葉氏 ⑩9/11　千葉氏の滅亡	
受講料 （10回分）	会員　13,200 円	
	一般　16,500 円	
講座内容		
茨城県南西部から千葉県北西部にかけての地域に関する歴史を解説します。この地域は、平安時代には、桓武平氏の一族が勢力を広げていました。同族ながら、現在の千葉県域を拠点とした勢力と、茨城県域を勢力圏とした勢力がありました。千葉県域を拠点とした勢力としては、千葉氏が代表となっていきます。その千葉氏と隣接した常陸の勢力との関係を見ていきます。		

講座名	New！『常陸国風土記』から読み解く古墳時代	
講師名	千葉　隆司 （かすみがうら市歴史博物館館長）	
講義日時	第1、第3土曜　10時～11時30分	
	①4/5　ヤマトタケルノミコトと常陸国の関係 ②4/19　常陸国内の水田開発と祭祀の様子 ③5/10　豊かな常陸国の産業（塩づくり、馬の生産、織物など） ④5/17　水運中心から陸上交通への展開 ⑤5/31　地方豪族の誕生と連携	
受講料 （5回分）	会員　6,600 円	
	一般　9,900 円	
講座内容		
『常陸国風土記』を総記から多珂郡まで読みながら、古墳時代の記事を取り上げ、当時の常陸国の様子を解説します。豊かな自然環境に恵まれた常陸国の古代人の生活に思いを馳せてください。		

講座名	New！戦国武将の手紙を読む	
講師名	平野　明夫 （國學院大學兼任講師）	
講義日時	第2、第4木曜　13時～14時30分	
	①4/10　②4/24　③5/8　④5/22　⑤6/12 ⑥6/26　⑦7/10　⑧7/24　⑨8/28　⑩9/11	
受講料 （10回分）	会員　13,200 円 一般　16,500 円	
講座内容		

戦国時代に活躍した人たちが残した手紙を読んでいきます。手紙を読むには、まず文字を読む必要があります。戦国武将の手紙の多くは、くずし字で書かれています。そこで、最初に文字を解読します。もっとも、文字がわかっても、当時の手紙は、和風漢文で書かれることがほとんどです。独特の言い回しもあります。そうした点をふまえて、文章を読んでいきます。その上で、文章の解釈をしていきます。さらに、そこから見える歴史を解説します。このように1点ずつ丁寧に読み進めていきます。

講座名	New！アジア・太平洋戦争を問い直す	
講師名	伊藤　純郎 （筑波大学名誉教授）	
講義日時	第1、第3金曜　10時～11時30分	
	①4/18　戦争の呼称 ②5/16　沖縄戦と茨城 ③5/30　模擬原爆投下訓練 ④6/6　風船爆弾 ⑤6/20　特攻隊の遺書	
受講料 （5回分）	会員　6,600 円 一般　9,900 円	
テキスト代	1,100円（税込）『アジア・太平洋戦争を問い直す』 清水書院	
講座内容		

今年で終戦80年となるアジア・太平洋戦争を、地域と人びとの心に刻まれた戦争の記憶という観点から問い直します。